



由布市立東庄内小学校  
田口教諭の実践報告等を聞いた後、持参した資料を基に  
①自校の取組の報告  
②検証・改善の取組方策  
について、それぞれのグループが活発に協議を行っていました。

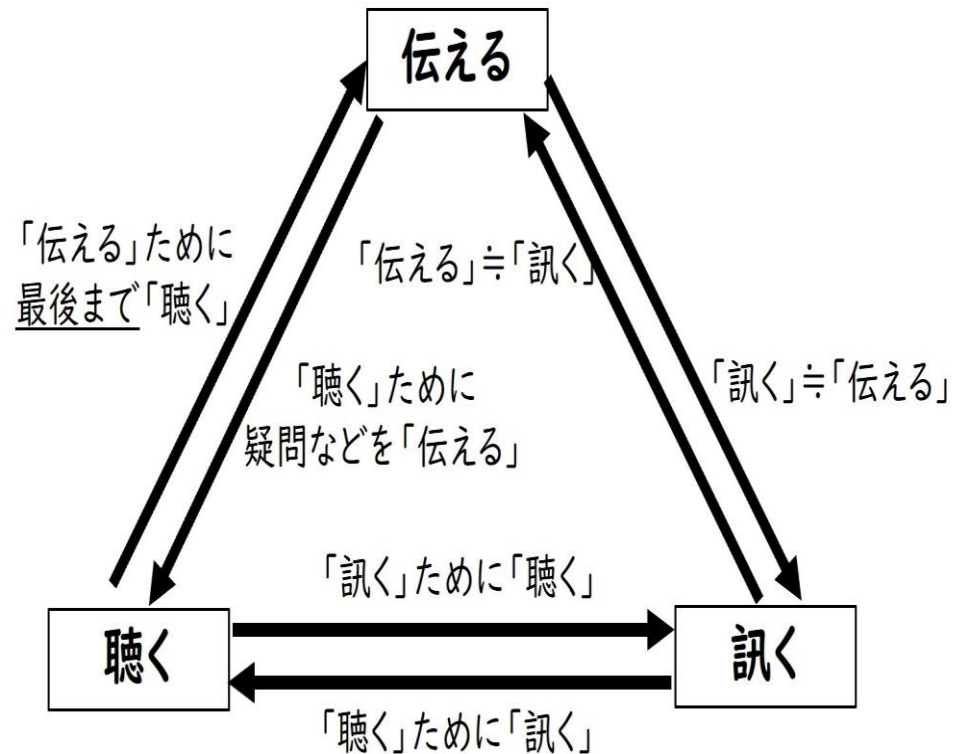
### 【感想(一部抜粋)】

研究主題を設定する際に、様々なデータを分析して、学校の教育目標や育成を目指す資質・能力と連動させながら考えていくなど、過程を改めて整理できた。  
今後も検証・改善に取り組んでいきたい。

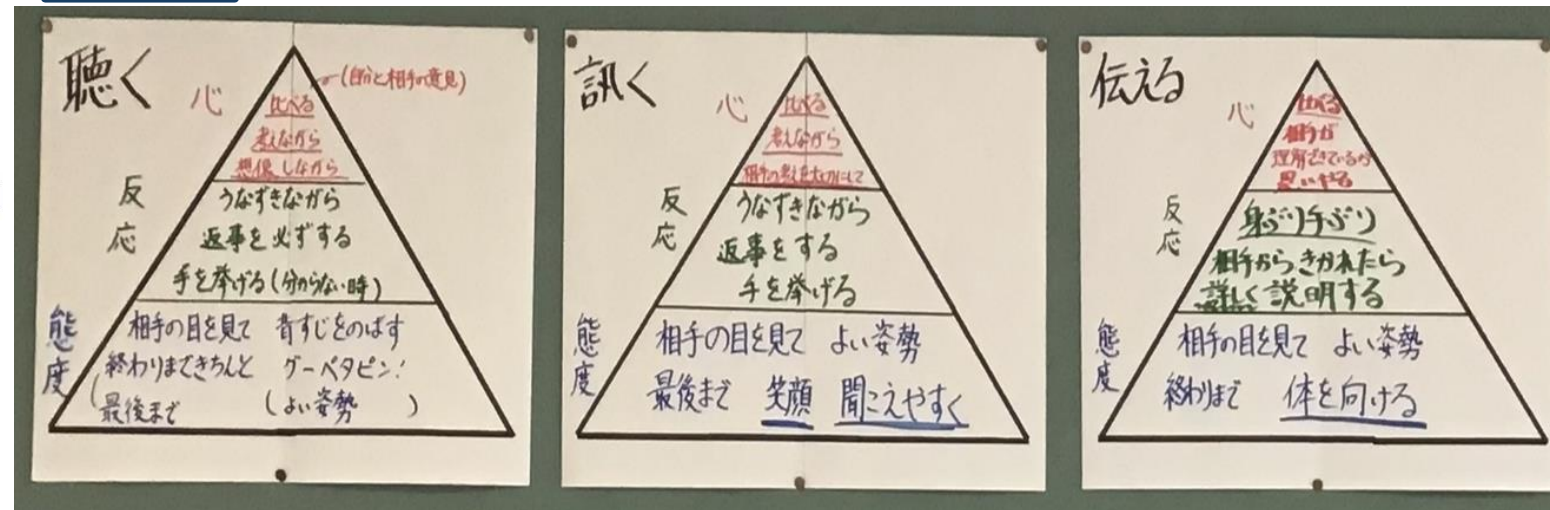


## 目指す子どもの姿

教室に掲示し、児童とも共通理解



5 年生





【協議・演習「1単位時間の授業づくりについて」】第5学年 算数科 体積の授業  
発表の場面で「根拠をもとに説明できる子どもを育成」するためにはどのような授業展開にすればよかったでしょうか？

### 【研究主任としてアドバイス】

【 C グループ】

先生が説明してはだめ → 児童が説明できる授業展開を。

- 重量Aの残差に対して  

$$5 \times 7 \times 4 + 5 \times \underline{2} \times \underline{4}$$

説明: 17は理解が度にとり

- 図形の「模型」を用いてよいのではない!
- 図形の色分けや移動量として、同じ長さであることと  
(創意的) 視覚的・理学的にさせる

A  
あ

①がなぜその数字にふたのかを尋ねて  
授業と展開する。→全体に伝える

④ ★ ペアヤクループで意見(考え)交流してもよいのは  
(式の説明をさせる) → 発表の前の段階で

★月量Aはなぜこの式を用いるのか。パナソニックの  
考え方の展開

★ グループで模型を用いて、みんなで考える (リデザインが出来る子へ)

★ 自分の考えを説明する活動は1学年からの積み重ねが大切

### 【研究主任としてアドバイス】

【 G グループ】

。学生が「どうして  $5 \times 2 \times 4$  (たどというわけ) と先に説明 ~~していいから~~  
LTの順序で。

- ・「順序を追って説明」させる。

Aの説明を受け、全体に①の5を何枚かを配り、  
他の生徒にも説明させる。

・Aの式の説明と図のつなかりを、全体に問い説明させろ。

•  $A_1 = \mathbb{Z}[T_1, T_2, T_3]$  を使って説明せよ。

(その他生徒にも)  $\rightarrow$  Cの生徒も視覚的に理解できず。

○「根拠なし」とは「説明でなし」とは、何か言えたさもないのか？

式だけでOK言葉が不要、その数値式に11=3までの言葉が不要

[illegible]

【各グループの協議・演習シートより(上記の協議シート赤枠部分を抜粋)】

- 先生が説明するのではなく、**児童が説明できる場**を与えなければならない。
- 他の児童に説明してもらう等、**みんなで根拠をつくり上げていく**ことが大事。
- 児童の発言内容について、「どうしてその数字になったのか」などと**教師から問い返し、全体に広げる**。
- ゴールを考え、**授業の見通しで、既習事項を扱い説明で使う学習用語をおさえておく**。
- 説明できる子どもの育成を目指すのならば、**低学年から説明することの積み重ね**が大切。